

2008年1月4日

## 2008年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージをおくりました。社長メッセージのあらまきは以下のとおりです。

### **「明治安田再生プログラム」の完遂～新中期経営計画のスタートに弾みをつける～**

- ・ 保険金等の支払状況に関する調査では、全従業員が懸命に努力し取り組んでくれた。あらためてみなさんに感謝したい。お客さまに適切かつ正確にお支払いすることが、生命保険会社にとって最も重要な責務であることを、今一度全役職員が再認識したい。
- ・ 昨年は、2006年1月に開始した「明治安田再生プログラム」の総仕上げの年として、計画遂行に全力で取り組んできた。これまでに、委員会設置会社への移行、総代立候補制の導入など、ガバナンスの強化と透明性の向上を推進してきたほか、事務サービスの基幹機能の強化に努めてきた。営業面においても、ご契約の継続率が大幅に改善するなど、本プログラムの最大の目標である「お客さま・社会からの信頼回復」という点において、大きく前進しつつあると実感している。
- ・ 引き続きこれらの改革を強力に推進し、「明治安田再生プログラム」を完遂するとともに、新たな成長をめざした新中期経営計画のスタートに弾みをつけていきたい。

### **営業態勢の抜本的改革に取り組み、「お客さま満足度の向上」を徹底的に追求する**

- ・ 4月からの新中期経営計画では、これまで以上に当社の企業価値を高め、お客さま・社会からの信頼を確固たるものとするため、改革へのチャレンジを継続し、会社のあらゆる業務において、「お客さま満足度の向上」を徹底的に追求していく。
- ・ とくに営業面においては、少子高齢化の進展や銀行窓口販売の全面解禁など、昨今の生命保険業界を取り巻く環境変化を踏まえ、お客さまのニーズに合った商品の開発を行なうなど、マーケットに応じた営業政策を展開する。
- ・ また、高品質の営業・サービスをすべてのお客さまに均しくご提供できるよう、基幹チャンネルである営業職員の資質の向上をはじめとする営業態勢の抜本的改革に取り組んでいく。
- ・ これは、当社の歴史に残る大きな改革であり、今年はその第一歩を力強く踏み出す一年にしたい。

### **一人ひとりが改革に向けて「主役意識」を持って業務に取り組み、新たなチャレンジを成功させよう**

- ・ 「お客さま満足度の向上」に向けた改革へのチャレンジ成功の鍵は、「人」であり、職員、営業職員のみなさんである。
- ・ 今年も、一人ひとりがお客さまの立場に立って考え行動するとともに、改革に向けて「主役意識」を持って業務に取り組んでほしい。私も、引き続き不退転の決意を持って改革を推進していく。
- ・ 「お客さまを大切にする会社」、働きやすい誇りの持てる会社にするため、全役職員が一丸となり、新たなチャレンジを成功させよう。